

おがき ちか
chika ogaki

24

ランドレオール
Landreaall





Landreaall24

ogaki chika

contents

Act.124 主女たちの影	7
Act.125 リコシティ	33
Act.130 DISTANCE	53
Act.131 NO NAME	83
Act.132 公子二人	103
Act.133 淑女の部屋	135
Act.134 5人リジョー	163
Talkpiece	173

Landreaall24

ogaki chika



Landreaallの登場人物

イオン・ルッカフォート

DXの妹。アカデミーに在学中。
DXに同行することを家族に反対され、
アカデミーに残ったはずだが……



DX・ルッカフォート

アトルニア王国エカリス侯の公子で王位継承候補者の一人。アカデミーに在学中。行方不明になった両親の手がかりを求めてクレッサールを旅している。ディアに想いを寄せているが、彼女は新王の婚約者であり、複雑な心境。



アイシャ

ディアの侍女で、実は変装したイオン。六甲は気付いている。

主人公DXと その家族



ファレル・ルッカフォート

DXとイオンの母親。元二刀流の女傭兵で、DXに傭兵流の剣術を教えた。現在、リゲインと共に旅の身。



リゲイン・ルッカフォート

DXとイオンの父親。エカリスの領主。この国の「革命」に深く関わる一人。ファレル、六甲と共にクレッサールに外遊中、襲撃される。



六甲 (ろくわく)

ルッカフォート家に仕えるニンジャ。砂漠で負傷し、運搬しがけたところをデレクとババルに拾われ保護されていたがDXたちと合流。



オズモ
アトルニア王国議会の議長。
リザインの親友。



ファラオン卿 (大老)
新しい王になる人物。戴冠前
の慣習で着に帯びられている。



メイアンディヤ・クラウスター
通称「ティア」。「真祖」であるクラウスター家
の嫡。「大老」ファラオン卿の嫡子であり、
王位になる予定。大老の命令でDXの無礼
を許すことだ。



アニューラス・バラライカ
通称「アン」。「円卓」で王を推定する
「玉座」の一人。DXを王に推挙し
た。新王の戴冠の準備で忙しく、
DXに同行せず王城に残っている。

王城の人々

ユー・ジェニ

クレッサールで生まれ育った前王の孫娘。
母王に最も忠実な騎士であった、リザインが
自分の父親かもしれないと考えている様子。

レイ・サーク

アカデミーの研究士
であり、相談役。なぜ
がファラオン卿とデ
ィアに情がけがある
様子。ティアとの仲は
悪くあるが…。



クエンティン・フェレン
「玉座」の一人。「不在の王女」
リザーナの嫡であるユー・ジ
ェニを女王に推挙した。クレ
ッサールでリザインたちを捜
索しているはずだったが…。



チレク
クレッサールの民。倒れ
ている六甲を見つけた。



バハル
クレッサールの民。
チレクの見。



マーニ
クレッサールの民。リザインたちと
同行していた砂漠の案内人の孫。

クレッサールの民



Landreaall Story

妻の女神エスノアと天馬の胎約に護られ、六つの家柄から成る王家を礎に建国されたアトルニア王国。隣国クレッサールとの戦争中に起こった革命によって王は薨れ、王座は空席のまま戦争は終結した。議会と騎士団によって国の復興が行われ、19年——。国は平和と繁栄を取り戻していた。

DX・リッカフォードは、革命の英雄リゲインと元傭兵ファレルの息子として辺境「歌う樹が渡る街」エカリープで育ち、火竜を封じる大樹に宿る歌姫、マリオンに恋をする。DXは火竜と戦い、神剣によって火竜を浄化する。解放されたマリオンは過去へと通り、エカリープは火竜の渡る地となった。

妹のイオン、護衛の六甲と共に、DXは故郷を離れ王都フォーメリーにある王立学校（通称アカデミー）での生活を始め、自身の立場や人々との関わりによって起こる様々な出来事を経験する。そして、革命の英雄として未だ王国の政と深く関わる父、リゲインから語られた「革命の真実」、戸惑いながらもDXは王位継承候補者としての自分と向き合い、将来について考え始めるのだった。

新王を決める円卓が67年ぶりに開かれるその時、前王の娘「不在の女王」リルアーナ姫の娘と名乗るユージェニが現れる。円卓は予定通り行われ、新王は大老・ファラオン卿に決定した。ファラオン卿の婚約者であるメイアンディアとDXは、お互いに惹かれ合いつつその気持ちを胸にしまし込む。

玉璽の一人クエンティンの案内で、女王リルアーナが滞在したという土地を訪ねるために、隣国クレッサールに旅立ったDXの両親リゲインとファレル、そして六甲。3人が旅の途中で行方不明になったという報せが王都のDXのもとに届く。

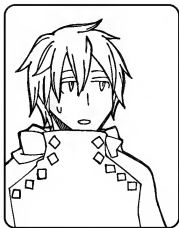
急いで国境に向かうDXに、ファラオン卿の命令でメイアンディアが同行することに。そして王都に残るはずのDXの妹イオンは、変装してディアの侍女「アイシャ」と名乗り、ついてきていた。DXたちは国境を越え、クレッサールへ。旅立つ前に、相談役のレイ・サーグに玉璽・クエンティンが怪しいと告げられ、DXは両親たちの失踪がただの誘拐ではなく、「不在の女王」リルアーナと、クエンティンが絡んでいるのではないかと考える。

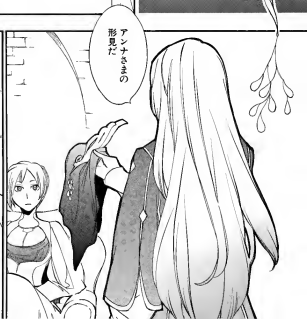
六甲が残した手がかりを追い、「灰燼」という部族の里に辿り着いたDX、メイアンディア、アイシャ。六甲は案内の少女の協力で誘拐犯の手から逃げ出し、負傷して遭難しかけていたところを彼らに助けられたのだった。六甲と合流し、「バイルとチレク」という「灰燼」の兄妹の協力を得て砂漠の国、クレッサールを進むDXたち。

一方、捕われて砂漠の奥知れぬ土地に連れて来られたリゲインとファレルの前に現れたのは、クエンティン……!?

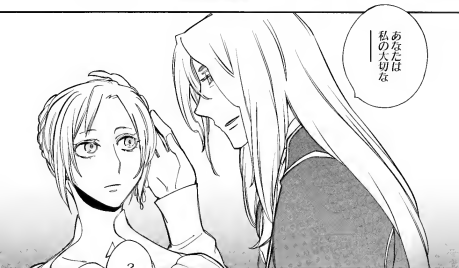


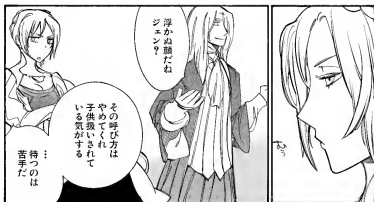
Act. 128 王女たちの影

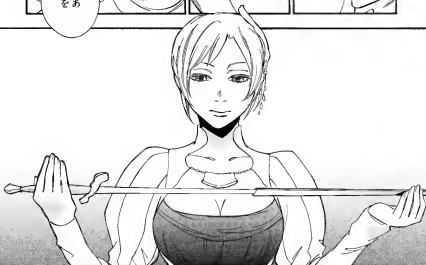














私もさ

希望と真実の
槍試合を続けよう

勝ち残る馬が
私たちを導く

メルシュカまで
付き合ってくれて
ありがとう
ございます



いいのよ
片道三日なんて
いつも兄さんと
行き来してる
旅商いに比べたら
たいしたことない



市場までって
約東だったのに



それに
DXとロツコーは
案外腕が立つって
わかったし

影獵や
砂虫が出ても
苦勞しない

あたし
旅は好きよ！

あんたは？

はい
旅は好きです

俺はいいけど
ディエたちは
大！

あめん
ごめん

ありがとう
大丈夫よ

お前たちが
何者なのかは
知らないが
一緒にいると

面白い

呪い師のことといい
曲場との
コンタクトの方法
といい

俺たちの
知らなかった
ことばかりだ

砂漠の民は
知識に敬意を
払うのさ

嵐もない
季節だし
明日には
着くわね

急ぎの旅じゃ
なかったら
ユーサハン鎮守に
連れてってやるん
だがな！

メルシユカの
オアシスから
半日の場所だ

聞いたことが
あるわ

太古からある
祈りの土地
神像や貴重な
遺物が…

アトルニア人
緑の土地で
いい場所だぞ

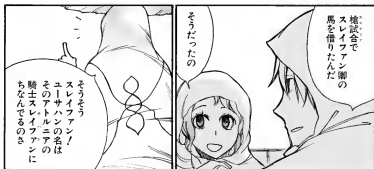
クレッツサールに
そんな場所が…

DXは
騎士団の
スレイファン卿を
知ってる？

アブローゼ
？

え？

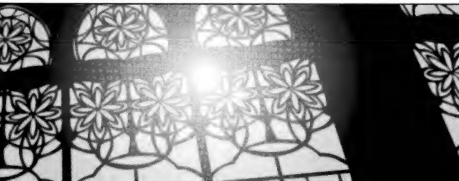
アブローゼの
持ち主？



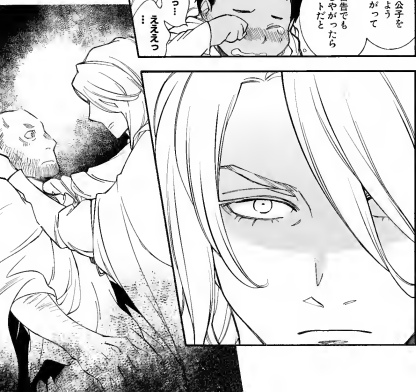
「月の夜に
青い星」
だったか

ちょうど
月が明るい時期だ
早くコトが片付くと
いいな

はい









引き込むには
タイミングが
肝要だな
...

あの方は
行動が
読みづらい



両親の
説得が先だ

説得……

あるいは



クエンティン

マリー



マ



マリーに
何したの……





母が最後に
住んだ所だ

母と…

私と
クエンティン
が

いつから…

母亡き後
私に王族の
振る舞いや

アトルニアの
歴史や知識を
教えたのは
クエンティンだ



覚えて
いますか

あなたが
私を見つけた
時のことを

私の首と
腕にはまだ
奴隷の鎖が
残っていましたか



あの時
アンナさまは
既に亡くなって
おられた

!!



ずっと…
隠していたのか

何故だ

俺は君に
信用されて
いなかったのか



あなたはまた
彼女の第一の騎士で
あらうとしている
のですか

アンナは
友人でも
あった……!



アンナさまは
あなたを置いて
去ったのに



リゲイン卿
あなたに何が
残りましたか?

王女の犠牲で
守られた
美しい思い出?

私に残されたのは
クエンティンと



その玉座を
私のものにして

全ての王族を
ひざまずかせ…

そしてこの手で
アトルニアの王という呪いを
真祖崇拝もろとも叩き壊す



母を死に追いやった者が
座っていた玉座だ

最後の王に
なることは
目的ではない

復讐のための
手段だ

リゲイン！
あなたが始めた
革命だ

私たちと一緒に
成し遂げよう！

ユージェニ姫…

母上が奪われ
見捨てられた
国を

私が
取り戻す

母のために
あなたは
王を見限った



私に忠誠を
誓ってくれないか



……

……今の
アトルニアは
その混乱に
耐えられない

やっと
取り戻した
民の信頼が

それで
崩れるなら
それまでの
国だ



アナが
それを
望むと!?

いいえ



彼女は
ただ……

絶望して
いただけです

運命と

良心の呵責に



そう
だろうか



母は
私の存在を
嘆いていたのでは
ないだろうか



私の出生が
倫理に背いた！

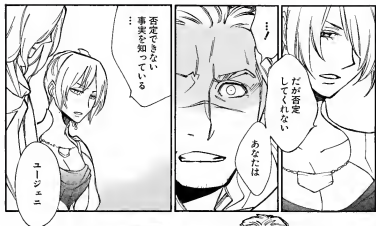
穢れたもので
あるからか



リゼイン…

あなたが私に
刺を挿げられ
ないのは



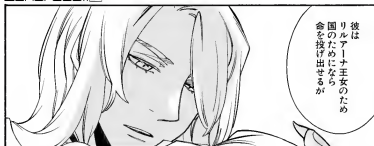




Act. 129 クエンティン



騎士は
「名譽ある死」と
いうものの魅力に
逆らえない





何か天恵を
使ってる……？



私は彼女の心が
傷付かないように
護ることができる

あなたは
リルアーナ王女を
護れなかった

王は……



知っていた
んでしょう

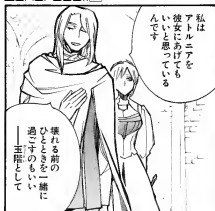
クエンティン！



君はユージェニを
護っているのか？
彼女の望みは……



……アンナに
まさか
本当に？



彼女は母親が失った
国を取り戻す

そのために
血を流すことを厭わない
勇敢な王女だ

巡り合わせた



私は砂漠の
奴隷市場で
呪い師に買われ
道具として
生かされていた

洞^{ほら}詠^い士の天恵は
触^ふ媒^{ばい}として
重宝^{じゅうぼう}され^たんだ

シングフェルス家の
生き残りとして
私を呪い師のもとから
連れ出したのは

リルアーナ
王女だった

呪いの
容れものとして
過ごしたせいで
ほとんど人でなく
なっていた私を

彼女と
彼女の娘…

不在の王女

悲劇の
リルアーナ

小さな
ユージェニは
根気よく
世話してくれた

記憶と心を
取り戻しながら
私はユージェニに
アトルニアのことを
教えた

そして
リルアーナは



最期に私に
明かしたんだ



大切にしていた
髪飾りのこと
……何故それを
投げ打ってまで
私を救ったか



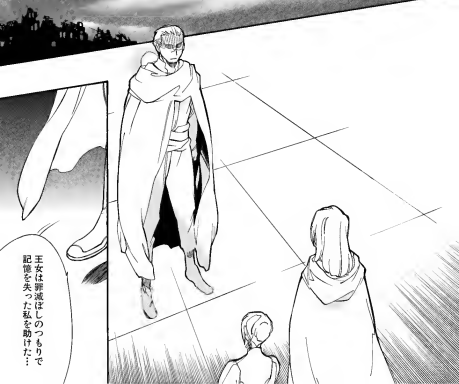
22年前

王都から逃げた王女は
ザンドリオの領主
シングフェルス家
……つまり私の家に

な……

王はそれを知って
ザンドリオを
滅ぼしたんだ

王女を匿う者への
見せしめに



王女は罪滅ぼしのつもりで
記憶を失った私を助けた！

リゲイン卿
…あなたから
戦争の始まりを
聞いた時

私は悟ったのです
最も暗い秘密は
隠され…

ザンドリオと共に
罪られたのだと

その上に建てられた
平和の国は

私には墓標に見える



天恵を利用する
術を学んだ

ザンドリオを

私の家族
私の氏
砂に守られし人々を
滅ぼした玉座に
復讐するために

リルアーナが
私を導いた

助けられなければ

真実を打ち明け
られなければ

私は何もかも
忘れていたのに

クエンティン…!!



俺は君に
少なからず
負い目があった

俺は王の
最も近くにいた
騎士だったのに

王を
止められなかった!!
君の人生が壊れた
償いを

できることは
何でもすると
誓った…



天駆ける蹄と
英霊の名にかけて

騎士として

君を
止めなければ

…そうでしょうね

ここで私を
止められなければ
あなたの奥方や
子供たちは

辱められ
破壊する運命だ

——っ

千



復讐する
相手はもう…

真祖の影が
途切れた時が

あったか？

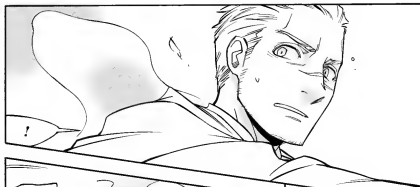
表向きを
変えただけでは
誤魔化せない

現にあなたの妻は
蔑あやまれている











あんたは
王女を利用
してるだけ…



目的は
なんなの

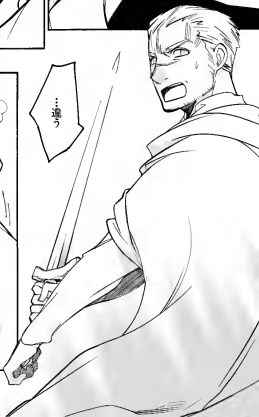


下賤の出だから
わかることも
あるんだよっ



あんたは
救いも勝利も
求めてない

// 空っ隊よ





しかし
あなたに
彼女は斬れない



リゲイン



この娘は
私が精魂込めて
育てた最高の

復讐の武器だ



Act. 130 DISTANCE



“女性に王位継承権”!!



くそっ

クラウスター家とは
懸念にしている
だろう？

メイアンディアが
塔と一緒に
引きこもって
いて
まったく捕ま
えられんのだ

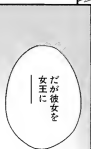
...

アトレの塔に
おられる間は王を
こちらから訪ねる
わけにいかん

下世話な
ジョークは
言うなよ

聞き
あま

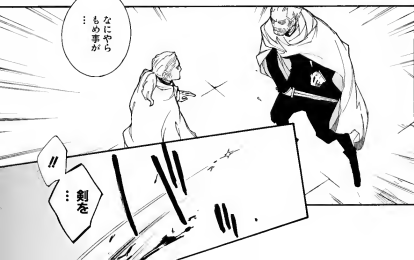
この議論が
公になれば



国民は美しい女王を
望むだろう





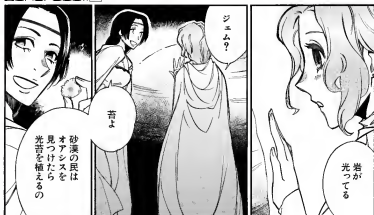




ここが
メルシュカ



砂漠の
オアシスだ







DX

星夜を
飛んでみたい

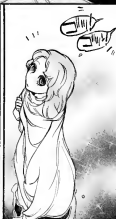




青い星って
何かしら…

この季節の
星？

曲鳴の族紋は
星じゃないしね
うーん





あんな
そんなメガネ
かけてるのに
目エいいわね!?



兄さん!

…青い光苔

いや
水中だから
夜光藻か?

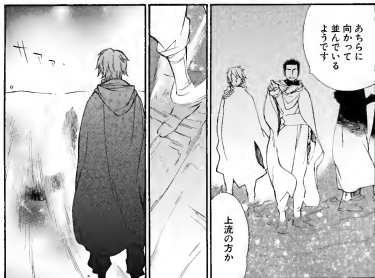
…これは

俺たちがいつも
植える光苔じゃ
ない



あちらに
向かって
並んでいる
ようです

上流の方か







うう…



人!?

!?

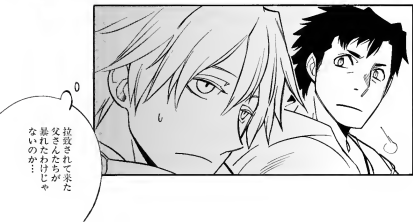












里を襲った奴らは
何者なの！
さまよい女を
使ってたんでしょ

呪い師以外が
さまよい女を
使えるのか？

あいつが！

も
戻って来たんだ

女たちの
魂を連れ去る

銀色の髪が
悪魔のようだった

クエンティン



Act.131
NO NAME



…
ルツカフォート
將軍





母はあなたを
置いていつたが
私はあなたを
連れてゆくつもり
だったのに







アトルニアの王家は
火山のようなものだ



火花を散らせば
誰にも止められない
炎を呼ぶ

真相と王家を
源は...?

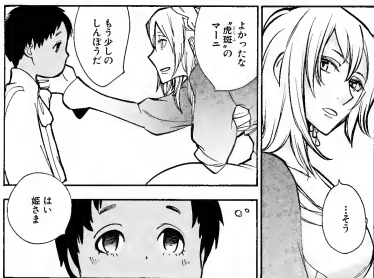


果^{なり}める民が
いなくなるまで!



どれだけの血が
流れると...









曲^{こま}鴉^がを
襲^襲ったのが
アトルニア人だっ
てどうしてわか
る

さまよい女の
ことは砂の民しか
知らない
ましてや
操れるのは
呪^呪い師^師だけだ







呪いは念の二種だ
洞跡士の天恵があれば
より多くの呪いを
体に纏り込める

魂呼子
呪いの容れ物の
ようなものだ

だが
魂呼子に
向いている天恵は
それだけじゃない

……

DX
お前らの両親に
そいつが関係ある
のか？

DX
この人とても
弱っているわ
話をするなら
落ち着ける
場所です……

うーん……

そうだな

立てる？

さわるな



アトルニア人には
もう関わりたくない



それでも
誇り高い
砂の民かつ

コイツは
親の仇かも
しれんの
に
ブツ倒れたお前を
真っ先に
助け起こしたん
だぞ!!



父と母は
死んでます

一人で
命からがら
逃げて来たん
だし

兄さん
しょうがない
よ



…曲鳴の
他の者は？

呪い師は
元々…
俺の他には
ごうつくばりの
老いぼれが三人
ただだけだ

曲鳴は
放っておいても
勝手に滅んだ
のに…

死体を
数えたわけじゃ
ないが

生き残りが
いるとは
思えない

俺が仕事から
戻った時には
里は滅茶苦茶に
なっていて

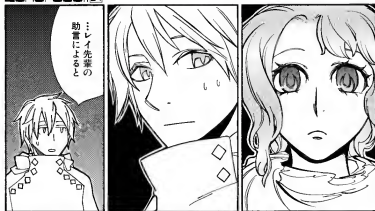
制御を失った
呪いや死霊で
いっぱいだった

10日はど…
砂眠に憑れて
いたんだ

あの土地に
もう人間は
いられない…

そうか…

クエンティン？



えっと…

実は
レイとは
王城でたまに
会う用事があつて

その…

あんまり
身分を
気にしたり
しないの

んん

ヨロシ

王城では
気をつけて
いるんだけど

クエンティンは
洞窟士なの？

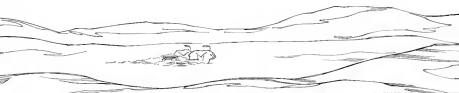
そう

本人に
聞いたんだ
でも力は
強くないって

心の中の光を
大切にさい



…あの人の
言ったことが
全部嘘だとは
思いたくない



DX:
お前は
家族を捜しに
来たんだな?

ロウコーと
両親を







ああ
俺もそう
思ってた



ユーサハンも
部族の一つ
なんですか？



いや

そこは少し
違っててな



聖地を守るための
集落だから
移動はしない

一族じゃなく
いろんな部族から
住人を受け入れ
てるんだ



ろくでなしの
夫から逃げた
女とかね

長老の許しを
もらってそこに
入るのさ



その
世話係…の人が
今もユースハンに
？

そうだ

銀髪の方に
ついて問い詰めて
やれたらそう
するのに！

できないの
？

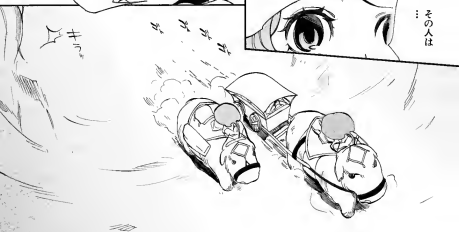
メルメル
ばあさんって
呼ばれてる

すっかり
もうろくしちゃって
素性どころか
自分の名前も
思い出せなくなった
んだが…

「メルメルのお菓子、
メルメルのお菓子」
って言うから

！

その人は
…









山賊!?



案内人は
ひっこんでろ

なめんなっ

手足が
減るわよ

うわ
~~~~~  
!!

何が目的だ？

てめえらこそ  
あいつが誰か  
知ってんのか？

アトルニアの  
王子サマだ

# Act.132

## 公子二人



この  
下の池で  
ルッカフォート  
将軍の奥方が  
蛙を捕まえて  
焼いて食べたって  
ホントかな



王城が  
きな臭く  
なってきた  
ようですよ







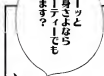
戴冠前の  
忙しい時に！って  
下から脱んできますよ  
きつと

こっちから  
呼ばないと  
塔に入れない  
なんていい掟だ



ティア嬢も  
いないことだし〜

王家御用達の  
店から美人を  
いっぱい呼んで



バートと  
独身さよなら  
パーティーでも  
します？



ハイハイ  
冗談ですよ



DXたちは  
上手くやってる  
のかな

ぐあっ

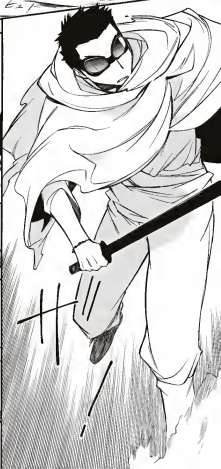
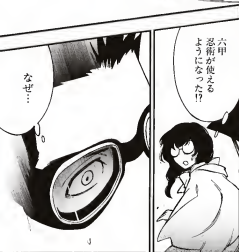
ぎええ

クソッ  
何としても  
連れてかねえと

次は俺らが  
魂ひっこ  
抜かれるぞ







荷台を  
焼い！

!?



!?





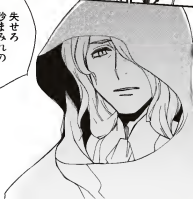
狐犬よりも  
使えない奴らだ



ひえっ



失せろ  
砂まみれの  
ならず者共





ご無事で  
なによりです  
公子



王子……？  
公子？

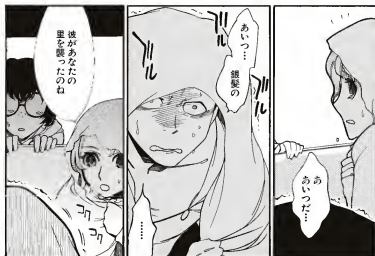
？

ナレク  
下がってろ



あなたが  
將軍夫妻に  
同行していたとは  
知らず

お迎えが  
遅くなったことを  
お詫びします





飛ぶ鳥の影が  
幸運を...

よせ

我々は流砂の民だ



名乗れよ  
礼儀だろう



彼らは  
里を持たない  
自由民です

公子の  
お連れは  
？



こんな  
奥地まで！

アトルニアに  
縁のある土地が  
あると聞いて  
協力を仰げるか  
と



偶然通りかかって  
俺を助けてくれた  
人たちです

彼らに  
案内を頼んで  
父さんたちを  
捜してました

父と母は？

ああ  
ユーサハン  
鎮守ですね

クエンティン

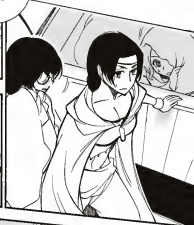
まったく公子は  
予想もつかない  
行動力をお持ちだ

今は私の  
保護下に

私の  
馬車へ  
どうぞ  
公子

何かためらう  
理由が？

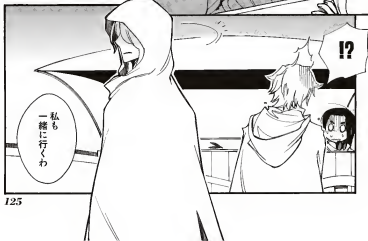
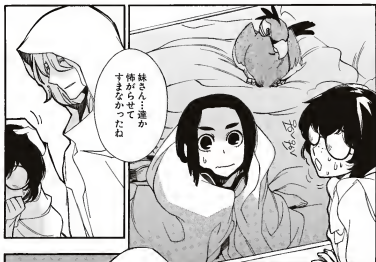
……荷台に  
誰か





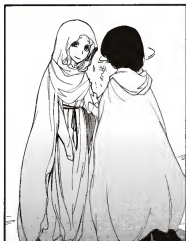












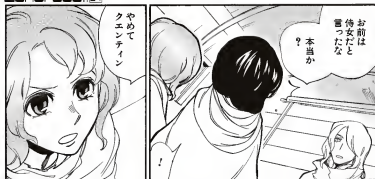












私は  
大丈夫よ

紙のような  
顔色ですよ  
お姫さま

私を

お姫さま  
なんて

呼ばな…

ディア  
!



**Act.133 淑女の部屋**











王女  
リルアーナの  
足跡を辿る  
旅にね

私のターンが  
終わるまで  
クレツサールに  
留まってもらおう

ここ何が  
起きているん？

ここではなく  
王城で

私の目的は  
常に  
国を変えること

あなたと  
一対一で話せるのは  
幸いです 公子

あなたも一人の騎士だ

残念ながら  
お父上は  
私の計画に  
賛同して  
下さらなかった

それは  
彼が本物の  
騎士であるがゆえ

そして

だからこそ  
私と組むことになるはず



イオン!

よかった  
やつとちゃんと  
目が覚めたのね

覚えてる?  
馬車で倒れたの

乗るところ  
までは  
なんとか...

はい  
手に力が  
入らないでしょ

二日も  
眠ってたん  
だよ

ありが  
とう

二日!!

DXは?  
ここはどこ?

ここは大きな壁で  
六甲たちと  
別れた日の  
夜に着いたの



大きな  
オアシスのそばよ  
名前はわからない

お兄はディアを  
心配してたけど  
今はクエンティンと  
話をしてる  
——と思う



こんな  
大事な時に

敵かもしれない人に  
弱味を見せて  
助けられる  
なんて



療士の女の人が  
ディアを着て  
くれたの

この皆  
クレッサール人の  
女の人がたくさん  
働いてるみたい  
小さな子もいる



レイが  
そう言うなら  
気をつけた  
方がいいわ



クエンティンは  
悪い人なの？

まだ  
わからない  
けど……





私が気が付く  
べきだった！  
ううーっ

お兄も私も  
六甲の心配  
してて...

ほとんど  
休みなしで  
移動してたもん

倒れて  
当たり前  
だよ

私ってば  
メイド  
きどりで  
楽しんでて

本当に  
ごめん！

たんこぶも  
私のせいだ  
~~~~~

あの..
イオン

たんこぶ
ごめんな
さ

えっ？
何と？

なん..
だろう？
??

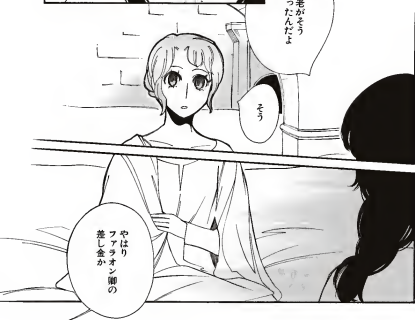
おっちゃん
こっちゃん
ハイ！





大老がそう
言ったんだよ
ね

そう



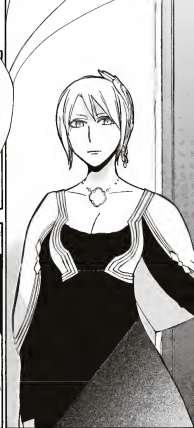


ユージェニ姫



立ち聞き
ですか!?

失敬な
様子を見に
今しがた来た
ところだ



目が覚めたようで
なによりだが
DX公子と
クエンティンの
大事な話を
大老に邪魔して
ほしくない

王妃さまには
ここでゆっくり
静養して
いただく

私はまだ
王妃では
ありません

あなたは
大老の妻と
いうより
ていのよい
使い走りでは
ないか

王城の
口さがない噂を
私は信じないが
あなたは黙認
しているようだ

自分の意志は
あるの？

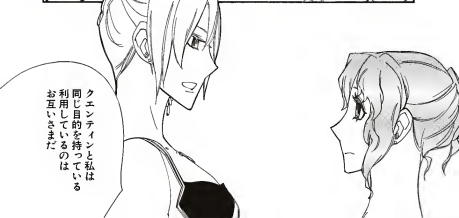
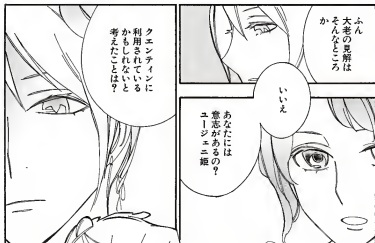
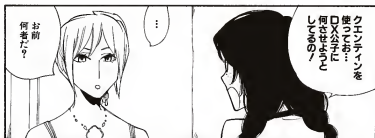
ディアはそんな
お人形みたいな子じゃ
ありません！

アイシャ

主人が
倒れるまで
気付かなかった
役立たずの侍女は
黙っていろ

うう……

あなたこそ
！





…その時が
来たら必ず
お話しします

クエンティンは
私の玉階だ

話があるなら
一緒に聞く

いいえ
あなた
だけに

あなたは
大老の命令で
ここにいるん
だな

DX公子を
助けるために

…ええ

命令
だから？



私たちの
騎士です



私は
女
同士の話を
しに来たんだ

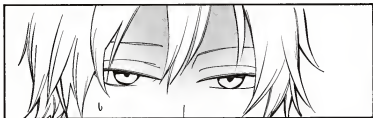
まあ
あなたが
そう言うなら
気は楽に
なったかな

DXは
私がもらっ

ユージェニ娅と…



婚約して
あなたが王に



ファラオン卿に
ユージェニ姫との
婚約を持ちかけたら
断られてしまいました

本当はそれが
最も楽な道
だったのだけど
ね

どうしても
メイアンディアさまを
犠牲にしたいらしい

実は



あの二人が
愛し合ってるの
結婚と思う者は
いませんよ

DXさま
私には

ファラオン卿の
戴冠をスキップして
あなたを主に
する準備が
あります

!

私は
あなたと
ユージェニ姫を
同格の王と女王に
したい

正式な結婚は
あなたの成人を
待つことに
なるでしょうが

業務上の
パートナーとでも
いったところかな

ユーリエニ姫は
目的のためなら
何でもする覚悟を
決めています

何でもの中で
これはずいぶん
マシな方だ

あなたは
今のままでも
恋を失う

私と組めば
少なくとも
メイアンディアさまは
自由に

言わないわ
あなたには

そは聞いてほしい
なんて言えない

私を塔のてっぺんに

俺は





名・言のためでは
揺らがないうつた
さて

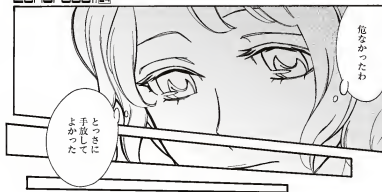


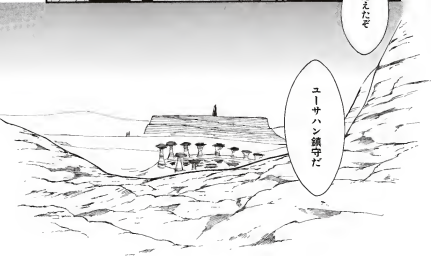
君を塔の
てっぺんに？



恋のためなら
どうかな

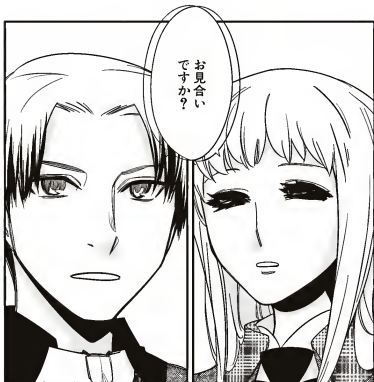








Act.133.5 プチリオール



お見合い
ですか？



申しぶんない
お相手よ



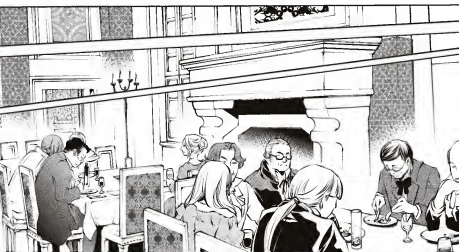
いい
お話なのよー



横顔の可愛さにロクもなくてさ



ミミミニ可愛くてさ





お二人とも
美男美女で
本当にお似合い！

あらごめんなさい
私ばかり喋って
お見合いって一応
前口上があるもの
なのよ

今から
目のように
磨ります
からね！

今日のドレス
とても素敵だね
モントーレ

ありがとうカイル
どうぞソニアと
呼んでちょうだい

君と会食が
できるなんて
嬉しいよ
ソニア

フフフ

私もですわ
とても
新鮮な気分ね



彼女は
センスが
いいんだね



今日のドレスは
チルダと一緒に
選んだの



イオンがいなくて
寂しいから
いい気分転換に
なりましたわ

ファアラオンさま
ご戴冠の年に
モントーレ家と
クリーズ家の
婚約!

ああ
僕もDXが
いないと訓練が
物足りないよ

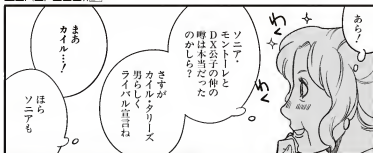
最高だわ
ちょっと強引にでもと
思ってたけど



！
実のところ
僕は彼を
最高のライバルと
思っているんだ



私が
がんばらなくても
この二人とても
話がはずんで
これは好相性
だわ







気は
合ってる
みたいなん
だけど

まあ
このサバラン
イオンに食べて
ほしいわ♡

なんか
ちがうわ
コレ！

今日の
ワインは
DX好みだ



イオンの
棒さばきは
本当に

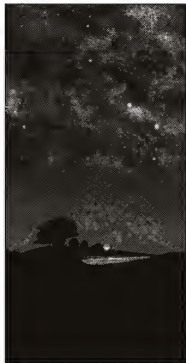
DXが
イオンへの
手紙を



おや珍しい
仲人の達人も
イレギュラーが
おありですか

今の
若い子って
不思議だわ

どっちの家にも失礼じゃないように
同じタイミングで仲人さんからの
「今回はノーカン」通知



Tailpiece





一回でいいんですか

ふはっ

好きな武器
選んで

それ
武器じゃなくて
テントの支柱
だけどいいの
？

手抜きは
しないわよ

あはは
おそろい
ぽと

カッ

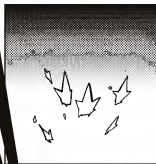
し...

見張って

私DXが
来ないように

ガッ

あら...



LEO-SUN
CONICS

Landreaall

24

著者／おがきちか

発行者／杉野庸介

担当編集／丸山章司

発行所／株式会社一迅社

〒160-0022 東京都新宿区新宿2-5-10 成信ビル8F

電話 03-5312-6851 (編集)

電話 03-5312-6150 (販売)

装幀／小石川ふに (deconeco)

ISBN978-4-7580-5919-0

©おがきちか／一迅社2014 Printed in JAPAN

IDコミックス

●この作品はフィクションです。実際の人物・団体・事件などには関係ありません。

eBOOKで
快適読書生活



<http://www.ebookjapan.jp>

Digital Distributor
eBOOK Initiative Japan Co.,Ltd.
<http://www.ebookjapan.jp>
